

・主な治療内容

肺炎	血液検査、血中酸素濃度の測定、抗生剤の内服、抗生剤の点滴注射、水分補給（経口・点滴）、喀痰吸引など診察結果をもとに適宜必要な治療を行っています。
尿路感染症	血液検査、尿検査、血中酸素濃度の測定、抗生剤の内服、抗生剤の点滴注射、水分補給（経口・点滴）、など診察結果をもとに適宜必要な治療を行っています。
带状疱疹	抗ウイルス剤の点滴注射、抗ウイルス剤の内服、抗ウイルス軟膏、皮膚清潔、水分補給（経口・点滴）、など診察結果をもとに適宜必要な治療を行っています。
蜂窩織炎	医師が患部を視診・触診することで判断し、原因菌に合った抗菌薬の投与が主体となります。（必要時血液検査）

・投薬注射内容

肺炎	25 名	ホスミシンS、タゾピペ、セフトリアキソン、レボフロキサシン、ラクテック、フィジオ、ソルデム
尿路感染症	16 名	ミノサイクリン、オフロキサシン、タゾピペ、セフトリアキソン、レボフロキサシン、フィジオ、ラクテック、ソルデム
带状疱疹	0 名	
蜂窩織炎	5 名	タゾピペ、セフトリアキソン、フィジオ、ソルデム